



# GIANT KILLING 女子サッカー部報告 GIANT KILLING

毎日ブログ更新!最新情報はこちらで!!  
<http://toin.sakura.ne.jp/>

2012年1月15日 NO.45

2011-2012 シーズンチームスローガン: 上位を破って勝ち上がる

◇1次ラウンド第1戦(1月3日、市原スポレク  
パークA面)40分ハーフ(カッコは前半のスコ)

吉田が決め初戦を5-0で快勝した。  
◇1次ラウンド第2戦(1月4日、市原スポレク

~第15回全日本女子ユース(U-18)に2年連続出場~

## 昨年覇者メニーナに引き分け

得失点差でグループ2位となりベスト4進出ならず

JOCジュニアオリンピックカップ第15回全日本ユース(U-18)選手権大会は2012年1月3日から千葉県市原臨海競技場ほかで行われ、7月の高校選手権準優勝枠で出場した大阪桐蔭高校は1次ラウンドで東北高校(東北代表/宮城)に5-0、MELSA[メルサ]熊本(九州2位/熊本)に6-2、日テレ・メニーナ(関東2位/東京)に0-0、2勝1分となり勝点で日テレ・メニーナと並んだが得失点差で敗れグループ2位となりベスト4進出はならなかった。

決勝は高校選手権優勝の常盤木学園(高校女子1位/宮城)と昨年覇者日テレ・メニーナの対戦となり、日テレ・メニーナが延長の末1-0で勝ち2年連続4回目の優勝となった。

### A-

大阪桐蔭高校 5-0(3-0)東北高等学校(東北/宮城)

【得失点】5分、11分金井、40分棟安、68分佐藤、77分吉田

1次ラウンド第1戦は東北代表の東北高校と対戦した。12月にJ-Green堺でおこなわれた「なでしこハイスクールカップ」でチームを見る事ができた。リトリートとカウンターが得意なチームという印象を受けた。大阪桐蔭は開始から高い位置からプレスをかけ先取点を狙った。相手に対応に戸惑っている時間帯に得点が欲しかったが、5分初めての右CKは相手の意表を突きゴールから離れた泊へ渡りロングシュート、バーに跳ね返ったボールを金井が押し込み先制した。まったく相手が予想していないトリックプレーが見事に決まり幸先の良いスタートとなった。さらに相手GKからのこぼれ球を金井がシュートして2点をリードした。その後は東北の守備が安定しチャンスを生かすことができなかったが終了間際に右サイド吉田の突破から棟安が押し込み3点をリードした。メニーナと得失点差の争いになる可能性もあるため得点を多く取りたかったが、なかなか噛み合わずチャンスを生かせない中、68分キャプテン佐藤が目覚めるようなミドルシュートを決め、さらに

### パークC面)40分ハーフ

大阪桐蔭高校 6-2(3-1)MELSA熊本フットボールクラブアマール(九州2/熊本)

【得失点】4分草野、7分吉田、8分草野、31分失点、57分草野、61分失点、64分、76分濱本

第2戦は第1戦で日テレ・メニーナに0-7で敗れた九州2位のMELSA(メルサ)熊本と対戦した。相手の情報が全くなく日テレ・メニーナ戦を見て戦力を把握した。この試合でも東北戦同様前線からのプレスをかけ攻撃的な姿勢で挑んだ。4分左サイドを突破したサイドバック草野が中央に切り込み得意の形からシュートを突き刺し先制、さらに7分同じ形で草野が左サイドを突破、中に折り返したボールを逆サイドから詰めていた吉田が決め早くも2点を奪った。その1分後にも左コーナーキックを草野が直接決め3点の差をつけた。大量点の勝利かと思ったがここからMELSAの反撃が始まった。31分大阪桐蔭右コーナーキックの攻撃からボールを失いカウンターを受け失点すると流れはMELSAに傾いた。何とか前半を1失点で終え後半に入った。後半17分左サイドを突破した草野が目覚めるようなシュートを逆サイドネットに突き刺しハットトリック(1試合で3得点)を決めた。これでMELSAは試合をあきらめると思ったが、

4分後に中央から⑭橘木(スノキ)に決められ2点差に迫られた。しかし24分、36分に濱本が得点し突き放しシーズンゲームをものにした。

◇1次ラウンド第3戦(1月5日、姉崎公園姉崎サッカー場)40分ハーフ

大阪桐蔭高校 0-0(0-0)日テレ・メニーナ(関東2/東京)

第3戦は昨年覇者日テレ・メニーナと2勝同士でぶつかった。2試合を終えて日テレ・メニーナが得点16、失点0の得失点差16に対し大阪桐蔭は9、グループ1位になるためには勝利しなかった。昨年は第1戦0-1で敗れたため今年は何んとしても勝利したかった。日テレ・メニーナは先発メンバー平均年齢14.9歳。高校2年2人、高校1年1人、中学3年5人、中学2年3人という若さ。体格では大阪桐蔭が勝っている。しかし日テレ・メニーナは技術力、戦術理解力が非常に高く、スピードがありボール際の競り合いが強いため試合を支配する高い能力を持っている。

大阪桐蔭はこれまでの2試合同様積極的に前線からボールを奪うプレスで挑んだ。15分はこのプレスが効き相手コートに追いやることはできたが、徐々に大阪桐蔭のペースが落ち、日テレ・メニーナが慣れてきたため攻め込まれるシーンが見られた。自陣に全員が守るリトリート状態となりいつ失点してもおかしくなかったがキーパーの犬飼、キャプテンの佐藤を中心に守備陣が体を張って耐え失点することなく前半を終えた。後半再び圧力をかけ何とか1点を奪うために攻めた。残り20分には3DFのして攻撃シフトで仕掛けたが、日テレ・メニーナの強固な守備をこじ開けることができなかった。最後まで攻めの姿勢を貫いた好ゲームであったが勝利ならず決勝トーナメント進出はならなかった。

【1次ラウンド順位】上位1チームが進出



# GIANT KILLING 女子サッカー部報告 GIANT KILLING

	グループ A	グループ B	グループ C	グループ D
1位	常葉橋 (東海2/静岡)	日テレ (関東2/東京)	常盤木 (高校1/宮城)	日ノ本 (関西/兵庫)
2位	十文字 (関東1/東京)	大阪桐蔭 (高校2/大阪)	文教大学 明清 (北海道)	藤枝順心 (東海1/静岡)
3位	作陽 (中国/岡山)	MELSA (九州2/熊本)	鳳凰 (九州1/鹿児島)	湘南 (関東3/神奈川)
4位	福井 (北信越/福井)	東北 (東北/宮城)	ジェフ市原 (開催地/千葉)	松山東雲 (四国/愛媛)

